

臨床研究のお知らせ

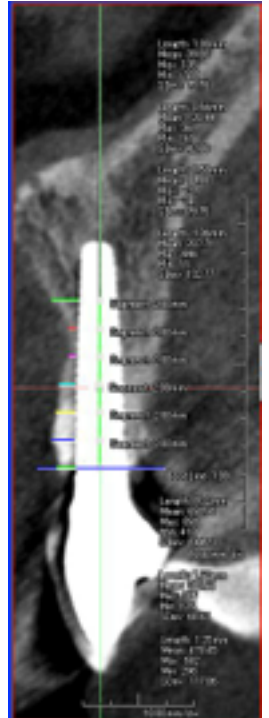
『上顎審美領域におけるインプラント即時埋入即時負荷：CBCT (Cone Beam Computed Tomography) を用いた重ね合わせ法による唇側骨形態変化の分析』

当院では九州大学歯学研究院と歯科インプラントに関する共同臨床研究を行っております。

(研究の概要) インプラント周囲骨の形態変化をCBCTを用いて計測する

(研究対象)

1. 2005年1月1日から2016年03月19日までの期間に、森本歯科医院、天神森本歯科医院または森本歯科において上顎左右中切歯・側切歯もしくは犬歯相当部にインプラント即時埋入即時負荷を行った患者
 2. 20歳以上(手術時)
 3. インプラント埋入後、12~15か月経過し、CBCT検査を行っている以下の場合の対象外となります。
 1. 歯周病、歯の破折、外傷、むし歯などにより術前に骨欠損が存在していたもの
 2. 手術時(主に抜歯時など)に骨の破折が認められたもの
 3. 術後、インプラントの失敗に該当する痛みなどの症状やインプラント周囲骨に問題が認められたもの
 4. 術前または術後に、画像解析に用いる隣在歯の歯質が十分残っていないもの。もしくは、隣在歯に新しいかぶせものが装着されていたもの
- * インプラント即時埋入即時負荷とは、抜歯をして即時にインプラント埋入を行い、仮歯まで同日に製作するという新しい治療法のこと



すでに撮影されているCBCT画像を解析する研究ですので、患者さんにとって特に副作用や健康被害は無く、不利益もございません。

詳しくはこちらの連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。

TEL092-642-6441

九州大学大学院歯学研究院 口腔機能修復学講座インプラント・義歯補綴学分野 担当歯科医師：森本太一郎

*『臨床研究』とは臨床で行われる試験や研究をいいます。臨床研究は専門の医師の詳細な診察のもとに行われます。

研究課題：『上顎審美領域におけるインプラント即時埋入即時負荷：CBCT (Cone Beam Computed Tomography) を用いた重ね合わせ法による唇側骨形態変化の分析』

研究機関：森本歯科、九州大学大学院歯学研究院 口腔機能修復学講座インプラント・義歯補綴学分野

研究責任歯科医師：古谷野 潔

研究事務局連絡先：092-642-6441 (九州大学大学院歯学研究院 口腔機能修復学講座インプラント・義歯補綴学分野 担当歯科医師：森本太一郎)